レジメン登録フォーマット

申請年月日	2020年7月9日	使用開始日			
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	楢原啓之	化学療法委員会承認年	2020 年 8 月
レジメン名	オニバイド＋sLV5FU2				
疾患名	膵がん	適応の備考	CVポート セカンドライン以降に使用		
適応分類	進行再発		UGT1A1遺伝子多型が*6もしくは*28のホモ型、*6/*28のダブルヘテロ型ではオニバイドとして1回50mg/㎡を開始用量とする。 なお忍容性が認められる場合は、オニバイドとして1回70mg/㎡に増量できる。		
1コース日数	14 日間	総コース数	有効な限り コース	催吐性リスク	中等度
抗がん剤投与量・投与日	オニバイド70mg/㎡ day1、5－FU2400mg/㎡ day1（46時間）				

治療スケジュール ・ 投 与 日 程 (投 与 日 は ●) (day)

投与順	ﾙｰﾄ・方法	薬 剤 名	投 与 量		投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	主ルート	生食20mL	1	本 / body		●													
	中心静脈注射																		
2	主ルート	ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ注ﾊﾞｯｸﾞ0.75mg50mL	1	本 / body	30 分	●													
	中心静脈注射	ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液6.6mg/2mL	1	本 / body		●													
		ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液1.65mg/0.5mL	2	本 / body		●													
3	主ルート	5%ﾌﾞﾄﾞｳ糖液500mL	1	本 / body	90 分	●													
	中心静脈注射	オニバイド	70	mg / ㎡		●													
4	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5 分	●													
	中心静脈注射																		
5	主ルート	5%ﾌﾞﾄﾞｳ糖液250mL	1	本 / body	2 時間	●													
	中心静脈注射	レボホリナート	200	mg / ㎡		●													
6	主ルート	生食100mL	1	本 / body	46 時間	●													
	中心静脈注射	5-FU	2400	mg / ㎡		●													
		携帯型ﾃﾞｨｽﾎﾟｰｻﾞﾌﾞﾙ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ																	
	希釈後の液量を総量140mLとなるよう調製																		
7	経口投与	デカドロン錠	8	mg / body			●	●	●										
	分2朝昼食後																		

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。（例：Rp2とRp3を同時に投与開始する。）

【投与上の注意】

穿刺時、生食を使用し、ポートの通過を確認すること

・day2～4のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。